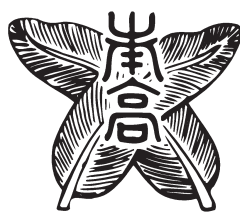


令和 7 年 度

入 学 者 募 集 要 項



山形県立山形南高等学校

〒990－0034 山形市東原町四丁目 6 番16号

電 話 0 2 3－6 2 2－3 5 0 2（事務室）

0 2 3－6 2 2－3 3 5 0（職員室）

F A X 0 2 3－6 2 4－6 9 4 5（職員室）

ホームページURL <https://www.yamanan-h.ed.jp>

◇本校の概況について

I 沿 革

昭和16年	山形県立山形第二中学校創立。
昭和23年	山形県立山形第二高等学校と改称。
昭和25年	山形県立山形南高等学校と改称。
昭和43年	理数科を設置。

II 設置課程・学科

全日制の課程	普通科・理数科
--------	---------

III 教 育 目 標

- 1 創造的知性を身につけた人間を育てる。
- 2 たくましい，健全な心身を持った人間を育てる。
- 3 情操豊かな，思いやりのある人間を育てる。
- 4 広い視野を持ち，自主的，自律的に行動できる人間を育てる。

IV 入学者の受入れに関する方針

- 1 新しい時代を切り拓くリーダーや国際社会や地域に貢献するグローバルな人材として活躍する意志がある生徒を募集します。
- 2 高い志と学力を有し，入学後も自ら意欲的に学び続ける生徒を募集します。
- 3 生徒会活動や体育・文化活動に積極的に取り組む生徒を募集します。
- 4 多様な価値観を受け入れ，他者と協働して行動できる生徒を募集します。
- 5 理数科の特色をよく理解し，数学や理科，英語に卓越した能力を持ち，医学・理学・工学・農学系大学に進学を希望する生徒を募集します。 ※理数科

◇入学定員

普通科	200名	理数科	40名	計	240名
-----	------	-----	-----	---	------

◇一般入学者選抜について

I 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- 1 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者、若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- 2 中学校を卒業した者。
- 3 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

II 出願に必要な書類

1 一般入学願書

本校所定のものを用い、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼付し、消印はしないこと。なお、理数科を第1志望とする者は普通科を第2志望として出願することができるが、普通科を第1志望とする者は理数科を第2志望として出願することはできない。

2 調 査 書

令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項の定める様式により作成すること。

3 評 定 概 況

中学校長は、所定の様式で1部提出すること。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和5年度以前の卒業者からの志願者については、提出を要しない。

4 個別に必要な書類

- (1) 自己申告書は本校校長が、その提出を認めたとき提出することができる。
- (2) 事情により東学区・北学区以外から志願する場合は、山形県教育委員会教育長の学区外高等学校志願許可書を添付すること。
- (3) 他校の推薦入学者選抜、連携型入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者が志願する場合は、推薦入学者選抜願書の写し、連携型入学者選抜願書の写し又は前期（特色）選抜入学願書の写しを添付すること。
- (4) 高等学校に在籍のまま志願する場合は、在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- (5) 令和5年度以前の卒業者で、出身中学校が東学区・北学区以外で、かつ、現在の居住地が東学区・北学区である場合は、住民票等を添付すること。
- (6) 東学区・北学区以外に就学し、現在の居住地が東学区・北学区である場合は、区域外就学承諾書の写しを添付すること。

※ 募集要項（一般入学願書）の配布

- (1) 募集要項（一般入学願書）は令和6年12月12日（木）から本校で配布する。
- (2) 募集要項（一般入学願書）の郵送を希望する場合には、宛先を記入した返信用封筒及び送料を同封すること。その際、普通科、理数科別の部数を明記すること。

III 提 出 要 領

- 1 「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出すること。なお、推薦入学者選抜、連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて記入し提出すること。
- 2 取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行うこと。

Ⅳ 出 願 の 受 付

1 受 付 期 間

令和7年2月17日(月)から2月21日(金)12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする(郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分[郵送料110円及び簡易書留料金350円]を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する。なお、複数の志願者の書類を郵送する場合の返信用切手は、以下の表を参照し返信用切手を貼ること)。

志願者数	1～5名	6～13名	14～21名
返信用切手	460円分	530円分	620円分
郵送料	110円	180円	270円
簡易書留料金	350円	350円	350円

2 受 付 場 所

本校事務室

Ⅴ 学 力 検 査

1 検 査 日 時 令和7年3月7日(金)

時 間	教 科	時 間	教 科
8:50 ～ 9:40	国 語	12:50 ～ 13:40	理 科
10:00 ～ 10:50	数 学	14:00 ～ 14:50 (14:00から約10分間は リスニングテスト)	外 国 語 (英 語)
11:10 ～ 12:00	社 会		

2 集 合 時 刻

8時20分まで本校に集合すること。(8時開場)

3 検査教科の配点

国語, 社会, 数学, 理科, 外国語(英語) 各100点

理数科は, 学力検査の配点の比重を変える傾斜配点を行う。実施教科は, 数学, 英語とし, 傾斜配点の倍率は1.5倍とする。

4 携 帯 品

- (1) 受検票, 鉛筆(シャープペンシルを含む), 消しゴム, 定規(三角・直定規のいずれでもよい), コンパス, 鉛筆削り, 昼食, 上履き, **腕時計**(検査室には時計がありません)。
芯の濃さは2B, B, HBとし, シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- (2) 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は, 使用してもよい。
- (3) 下敷きは使用してはならない。
- (4) 分度器又は分度器機能のついた定規, 公式や法則等の書いてある定規・鉛筆・筆入れ, 電卓等の計算用具, 計算機能や英単語表示機能・通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。
- (5) 連絡手段として持参した携帯電話, スマートフォンについては, 校内では電源を切り使用してはならない。
- (6) その他, 検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

Ⅵ 選 抜 の 方 法

選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

- 1 選抜は、学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行う。
- 2 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は4：6とする。

Ⅶ 合 格 発 表

合格者の発表は、令和7年3月17日(月)16時に受検番号のWebへの公開及び、本校正面玄関前の掲示によって行う。また、合格者には「合格通知書」を送付する。

Ⅷ 個人情報（学力検査の教科別得点）の提供

受検者の個人情報の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒を提出すること。封筒は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円〕を貼付し、出願者本人の「住所・氏名」（「様」をつける）を記入の上、「簡易書留」「親展」と朱書き（ゴム印可）すること。

なお、発送は3月17日(月)以降とする。

〈記載例〉

切手	郵便番号
	住
簡易書留	氏 所
	名
親展	様

Ⅸ 追 検 査

1 対 象 者

対象者は、志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日(金)実施の学力検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者とする。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

2 受 検 の 手 続

- (1) 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行うこと。

ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。

イ 上記1 ①の場合、医師の診断書を、上記1 ②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

- (2) 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行うこと。

ア 3月6日(木)までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日(木)15時までに本校校長へ電話連絡する。

イ (2)のア以降、3月7日(金)本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに本校校長へ電話連絡する。

ウ (2)のア、イに該当する生徒がいる場合、3月10日(月)15時までに、(ア)追検査受検願、(イ)医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類を、本校校長あてに提出する。やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで本校校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出すること。

エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を本校校長に連絡する。

- (3) 本校校長は、3月11日(火)までに、追検査の受検を許可する旨を、中学校長を通して志願者に連絡する。本校校長から中学校長への連絡は、電話連絡とする。また、「追検査受検願」及び医師の診断書等、本検査を受検できない理由を証明する内容について疑義が生じた場合は、3月11日(火)12時までに中学校長あてに照会する。

3 追検査の内容及び日時等

- (1) 学力検査等について
内容は、上記「V 学力検査」に準ずる。
- (2) 検査日時
令和7年3月12日(水)学力検査(時間は、本検査に同じ)
- (3) 検査会場
県立山形南高等学校

4 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

◇授業料，学校徴収金，その他の経費（令和6年度実績）

入学料	5,650円	学年諸費（年間）	75,000円程度
授業料	月 9,900円	教科書	12,000円程度
生徒会，PTA等諸団体会費	月 4,200円	補助教材費等（年間）	50,000円程度
海外研修旅行積立金	月 10,000円	運動着等	30,000円程度

※高等学校等就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要になります。詳しくは別添の「高等学校等就学支援金制度」のリーフレットでご確認ください。

◇合格者説明会（予定）

令和7年3月25日(火)

◇令和7年度入学者教育課程（予定）

普 通 科

太字は選択科目(下(※)参照)

教 科	科 目	標 準 単 位	1 年	文 系 2 年	理 系 3 年	2 年	3 年	計
国 語	現 代 の 国 語	2	2					文系16
	言 語 文 化	2	2					
	論 理 国 語	4		2	2	2	2	理系13
	文 学 国 語	4			2			
地 理 史	古 典 探 究	4		3	3	2	3	文 9
	地 理 総 合	2		2		2		
	地 理 探 究	3			4		3	理 7
	歴 史 総 合	2		3		2		
	日 本 史 探 究	3			4		3	
	世 界 史 探 究	3			4			
公 民	公 民 共 同	2	2					文 5
	公 民 探 究				3			
数 学	数 学 I	3	3					文 { 13 理 19
	数 学 II	4	1	3		3		
	数 学 III	3				1	5	
	数 学 A	2	2					
	数 学 B	2		2		2	3	
	数 学 C	2			2		2	
	数 学 探 究 A				3			
	数 学 探 究 B				2			
理 科	数 学 探 究 C						5	文 9 理 18
	物 理 基 礎	2				2		
	物 理	4				2	4	
	化 学 基 礎	2	2					
	化 学	4				2	4	
	生 物 基 礎	2	2					
保 健 育	生 物	4				2	4	9
	地 学 基 礎	2		2				
	理 科 探 究			1	2			
	体 育	7～8	3	2	2	2	2	
芸 術	保 健	2	1	1		1		文 { 3 理 2
	音 楽 I	2	2					
	音 楽 II	2		1				
	音 楽 III	2			3			
	美 術 I	2	2					
	美 術 II	2		1				
	美 術 III	2			3			
	書 道 I	2	2					
外国語	書 道 II	2		1				文 19 理 16
	書 道 III	2			3			
	英語コミュニケーションⅠ	3	4					
	英語コミュニケーションⅡ	4		3		3		
	英語コミュニケーションⅢ	4			4		3	
	論 理・表 現Ⅰ	2	2					
家 庭 情 報	論 理・表 現Ⅱ	2		3		2		2 2
	論 理・表 現Ⅲ	2			3		2	
	家 庭 基 礎	2	2					
	情 報	2		2		2		
教 科 計			30	30	30	30	30	90
総合的な探究の時間		3～6	1	1	1	1	1	3
ホームルーム活動			1	1	1	1	1	3
合 計			32	32	32	32	32	96

※

地理歴史

【文系】3年次は、「地理探究」・「日本史探究」・「世界史探究」から1科目を選択する。

【理系】3年次は、「地理探究」・「日本史探究」から1科目を選択する。

公 民

学校設定科目「公民探究」

数 学

「数学Ⅱ」は、「数学Ⅰ」の履修後に履修する。

【文系】3年次は「数学Ⅲ」と「数学探究Ⅰ」を選択するか「数学探究Ⅱ」と2年次で選択した芸術科目と同じ名称を含む科目のⅢを履修する。

学校設定科目「数学探究Ⅰ」、「数学探究Ⅱ」

【理系】2年次は「数学Ⅲ」か「数学Ⅱ」2単位および数学Ⅲ1単位を選択する。

「数学Ⅲ」は「数学Ⅱ」の履修後に履修する。

3年次は、「数学Ⅲ」か「数学探究Ⅲ」を選択する。

「数学Ⅲ」は2年次からの継続履修とする。

学校設定科目「数学探究Ⅲ」

理 科

【文系】「地学基礎」を履修後、「理科探究」を、2・3年次継続履修する。

学校設定科目「理科探究」

【理系】「物理」、「生物」から1科目選択し、物理基礎の履修終了後に履修する。

また、2・3年次継続履修とする。

芸 術

「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」から1科目選択する。

【文系】2年次は1年次に選択した芸術科目と同じ名称を含む科目のⅡを履修する。

3年次は「数学探究Ⅲ」を選択したとき、2年次と同じ名称を含む科目のⅢを履修する。

理 数 科

太字は選択科目(下(※)参照)

教 科	科 目	標 準 単 位	1 年	2 年	3 年	計
国 語	現 代 の 国 語	2	2			13
	言 語 文 化	2	2			
	論 理 国 語	4		2	2	
	古 典 探 究	4		2	3	
地 理 史	地 理 総 合	2		2		7
	地 理 探 究	3			3	
	歴 史 総 合	2		2		
公 民 保 健 育	公 民 共 同	2	2			2
	保 健	7～8	3	2	2	9
芸 術	音 楽 I	2	2			2
	美 術 I	2	2			
	書 道 I	2	2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			17
	英語コミュニケーションⅡ	4		3		
	英語コミュニケーションⅢ	4			4	
	論 理・表 現Ⅰ	2	2			
	論 理・表 現Ⅱ	2		2		
	論 理・表 現Ⅲ	2			2	
家 庭 情 報	家 庭 基 礎	2	2			2
理 数	情 報	2		2		2
普通教科・科目単位数合計			20	20	16	56
理 数	理 数 数 学Ⅰ	4～6	5			38
	理 数 数 学Ⅱ	7～11	1	5	5	
	理 数 数 学 特 論	2～6		2	2	
	理 数 物 理	2～6	2	3	3	
	理 数 化 学	2～6	2	2	4	
	理 数 生 物	2～6	2	3	3	
総合的な探究の時間		3～6	1	0(2)		1(2)
ホームルーム活動			1	1	1	3
合 計			34	33	31	98

※

芸 術

「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」から1科目選択する。

理 数

「理数数学Ⅰ」の履修後に「理数数学Ⅱ」を履修する。

「理数物理」、「理数生物」から1科目選択し、2・3年次継続履修する。

総合的な探究の時間

「理数探究」で2単位を代替する。